

年度評価シート

課名 文化振興課

施設の名称 静岡市美術館	指定管理者名 (公財) 静岡市文化振興財団
1 履行状況	
<p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>設備管理業務、機械警備・人的警備業務及び清掃業務等を実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。</p> <p>また、展示室監視カメラ不具合修繕や職員用男子トイレ漏水修繕等の修繕業務を合計9件行い、施設の適切な維持管理に努めている。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和元年度の来館者総数は255,328人、そのうち展覧会観覧者数は5つの展覧会合計105,481人で、事業計画で設定した目標値の111,000人に対して5,519人下回った。前年度の展覧会観覧者数の83,257人と比較すると、22,224人増となった。また、令和元年度事務事業総点検表の目標値である1,600,000人(平成27年度から令和元年度までの5年間の累計入館者数)に対して、5年間の累計入館者数実績は1,510,545人であり、達成率は94.4%であった。</p> <p>展覧会関連事業の参加者数は4,200人で前年度6,028人に比べ30.3%減、交流事業は731人で前年度35,539人に比べ97.9%減、連携事業は9,181人で前年度20,452人に比べ55.1%減となった。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>展覧会事業、展覧会関連事業、交流事業及び連携事業について、概ね事業計画のとおり実施されている。</p> <p>① 展覧会事業</p> <p>展覧会事業では、共同企画展(近代日本画、浮世絵)の2展をはじめ、西洋絵画、西洋美術・文化史、文学・グラフィックと、多彩なジャンルの展覧会5展を開催した。</p> <p>「小倉遊亀と院展の画家たち展」では、滋賀県立近代美術館の改修休館を機に、同館および開催館3館の共同企画として同館収蔵の日本画108点を紹介した。滋賀県出身の小倉遊亀のほか、横山大観、速水御舟、安田靉彦らの名品を揃え、アンケートで満足が9割を超えるなど好評を得た。また、鑑賞ガイドを制作し、市内小中学校に配布するなど日本画への理解と関心を促すよう努めたことも評価できる。</p> <p>「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション 初期浮世絵から北斎・広重まで」では、浮世絵を専門とする学芸員のいる千葉市美術館、大阪市立美術館との共同企画で、オーバリン大学(米)のエインズワースコレクションを初めて日本に里帰りさせて紹介した。助成金を得て海外調査から実施し、資料性の高い図録を日英対訳で刊行した。指定管理者の専門性を活かし、最新の浮世絵研究成果を反映させる工夫を施した点を評価</p>	

したい。

「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」では、カタルーニャ州を代表する数多くの美術館から協力を得て、19世紀半ばから20世紀初頭にかけて華開いたカタルーニャの近代美術と文化について、ガウディやピカソ、ミロ、ダリなど日本でも馴染み深い巨匠から、カザスやルシニョールなど日本ではこれまであまりまとまって紹介される機会がなかった作家まで、絵画を中心に家具や建築など多様なジャンルの作品約130点で紹介した。日本初公開となる作品が多数出品されたほか、国内作品の交渉も行い、普段貸し出されることの少ない作品の出品許可を得るなど、指定管理者の持つネットワークやノウハウが活かされた結果、好評を得て目標観覧者数を大きく上回った。

このように、展覧会の充実した内容に加え、英国スコットランドの海運王ウィリアム・バレルが蒐集した「バレル・コレクション」を中心に写実主義から印象派への流れを紹介した「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」では市内蒸留所の協力によるウィスキーイベントを実施、ルイス・キャロルの名作『不思議の国のアリス』に焦点を当てた「不思議の国のアリス展」では若者に人気の「Quiz Knock」や「リアル脱出ゲーム」とのコラボレーションを実施するなど、市民に親しみを持ってもらえるような工夫を凝らして新しい来館者層の開拓に努めていることも大いに評価できる。

②展覧会関連事業

展覧会ごとに、小中学校向けの団体鑑賞「ミュージアム教室」や生涯学習センターの講座等一般向けの「展示解説」を積極的に受け入れた。また専門家による講演会、鑑賞ガイドの作成、学芸員による一般向けギャラリートークなど、美術を身近なものに感じ、親しみを持って作品に触れる機会の提供を行い、市民の豊かな感性の育成に貢献できている。

③交流事業

Shizubiシネマアワー、しずびオープンアトリエ、しずびチビッコプログラム、各種ワークショップシリーズ等、市民が気軽に美術活動に参加し、市民の創作活動を支援する事業を本年度も活発に実施した。

シネマアワーでは多目的室を使って、主に開催中の展覧会にちなんだアートフィルム等を紹介した。普段上映される機会の少ない作品を見ることができると好評を得ている。また、しずびオープンアトリエでは、展覧会内容に合わせて鑑賞と創作が一体となった、短時間で制作できる独自プログラムを考案し、県外の学校関係者や美術館関係者から高い評価を得ている。毎年市内の大学に呼びかけ学生ボランティアを募集、育成し、美術教育に関わる人材育成に努めていることも評価できる。

④連携事業

他施設等との連携事業を行っているなかで、特に静岡音楽館、静岡科学館の駅前3館とは各館の専門性を活かして3件の共同事業を行った。「浮世絵コレクション展」に関連し、科学館で開催した「浮世絵の摺り体験」では、当時舶来品だった化学染料「ベロ藍」の合成実験もあり、好評を博した。また、「バルセロナ展」の際には「ガウディの建築を知ろう」と称し、科学館にて建築の専門家を講師に招き、展覧会でも紹介したガウディの世界を詳しく解説したほか、静岡音楽館の協力を得て静岡市美術館にて「ミュージアムコンサート」を実施し、チェロとピアノによりカタルーニャを中心としたスペイ

ン音楽を紹介し、市民が新たな分野に関心を持つ機会となった。各施設の来館者が相互に足を運びきっかけにもなっており、市民に多様な文化に触れる機会を提供している。

他にも、生涯学習センターを会場に各展覧会の関連した講演会等を開催した。また、「めぐりアート静岡」では、静岡市美術館多目的室で地元出身の若手画家の作品を紹介したほか、「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」でコンテナ・アートギャラリーを活用したワークショップや展示のキュレーションを担当し、多くの親子連れが参加した。若手作家の育成に加え、市民の芸術活動の参加体験の機会を館外でも提供していることは評価できる。

展覧会の観覧者数及びその他事業の参加者数は下記のとおり。

①展覧会事業

展覧会名	観覧者数	目標	達成率
小倉遊亀と院展の画家たち展	12,009人	16,000人	75.1%
メアリー・エインズワース浮世絵コレクション 初期浮世絵から北斎・広重まで	22,589人	17,000人	132.9%
印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション	25,461人	18,000人	141.5%
奇蹟の芸術都市バルセロナ展	21,895人	18,000人	121.6%
不思議の国のアリス展	23,527人	42,000人	56.0%

②展覧会関連事業

催事名	実施回数	参加者数
ミュージアム教室	64回	1,753人
展示解説	19回	772人
講演会	7回	675人
その他関連事業（ギャラリートーク等）	-	1,000人

③交流事業

催事名	実施回数	参加者数
Shizubiシネマアワー	3回	237人
暦とあそぶワークショップ	1回	22人
プレゼントワークショップ	4回	79人
しずびチビッコプログラム	3回	62人
しずびオープンアトリエ	2回	331人

④連携事業

催事名	実施回数	参加者数
生涯学習センター等との連携事業	11回	513人
めぐりアート静岡	-	6,910人
静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業	3回	308人
その他連携事業	-	1,450人

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

施設内に設置している「利用者の声」アンケートの他に、展覧会観覧者に対して事業ごとにアンケートを実施しており、意見・要望を積極的に取り入れる体制が整えられている点は高く評価できる。来館者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに検討するなど、良好な対応がなされているといえる。

〔具体的な意見・要望と対応状況〕

意見等：クーラーが効きすぎて寒かった。

対応：所蔵館の指定と作品保護のために展示室内の環境を変更することは難しいため、会場入り口での注意喚起やブランケットの貸し出し等を実施した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用者満足度調査

展覧会観覧者に対して事業ごとにアンケートを実施し、満足度調査を行っている。

各展覧会の「全体を通じた展覧会への評価」については「満足」「やや満足」の回答が7割以上を占め、概ね高い評価を得ている。特に「不思議の国のアリス展」では9割を超える高い満足度を得た。各展覧会での「満足」「やや満足」の回答結果は以下のとおり。

- ・「小倉遊亀と院展の画家たち展」87.4%（回答数：972）
- ・「メアリー・エインズワース浮世絵コレクション」88.1%（回答数：832）
- ・「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」86.9%（回答数：1,444）
- ・「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」77.7%（回答数：1,035）
- ・「不思議の国のアリス展」91.5%（回答数：1,498）

（2）市民アンケート

令和元年度に（公財）静岡市文化振興財団が指定管理者となっている文化施設等で実施した市民アンケート調査によると、静岡市美術館の認知度は68.1%、利用度は50.3%であった。前年度の認知度62.7%、利用度42.3%と比較するとそれぞれ増加している。さらなる認知度・利用度向上のため、JR静岡駅前という立地を活かし引き続き積極的な広報活動や魅力的な事業の実施を期待する。

（3）その他の調査

施設内に投書形式の「利用者の声」を設置し、施設利用者に随時、意見・要望や施設満足度について調査している。いずれの項目も「満足」「ほぼ満足」の合計割合は7割以上となっている。回答結果は下記のとおり。

- | | | |
|---|-----------|-----------------|
| ① | 職員の応対 | 85.7%（前年度83.3%） |
| ② | 清掃、整理整頓 | 85.7%（前年度91.7%） |
| ③ | 案内表示、掲示板 | 80.0%（前年度91.7%） |
| ④ | 開館日・開館時間 | 80.0%（前年度83.3%） |
| ⑤ | 空調・音響・照明等 | 77.2%（前年度91.7%） |

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務についての収支状況については、コロナウイルス感染症の影響によりチケット等収入の実績額が予算額よりも減少したものの、他の展覧会において目標を上回る観覧者数を獲得したことから事業全体としては黒字となり、概ね予算のとおりに執行されている。

また、開催した展覧会において、新聞社・テレビ局等マスコミ各社から出資共催を得るなど、限られた予算の中で効果的な事業実施に努めており、非常に良好な状況である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	有
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

《新型コロナウイルス感染症への対応》

新型コロナウイルス感染症への対応については、市の要請に基づき、適切な時期からイベントの自粛等の対応が図られた。この際の利用者への周知については、速やかに掲示での周知やホームページへの掲出を行う等、適切な時期・方法により行われている。

《前年度事務事故発生について》

令和元年10月13日、43名分の氏名及び生年月日、年齢、並びに1名分の連絡先（自宅電話番号・携帯電話番号）が記載された団体名簿（FAX受信用紙）を紛失する事故が発生した。派遣スタッフ用の業務マニュアルを見直して個人情報の取り扱いについての注意事項を追加すること、派遣スタッフの個人情報を含む情報全般の取扱いに対する意識を向上させるためマネージャー会議及び展覧会レクチャー並びに全体レクチャーでの指導を徹底すること等の対策を行った。

令和2年3月26日、静岡市美術館ツイッターアカウントの一時乗っ取りが生じ、スパムツイートが2件行われる事故が発生した。TwitterだけでなくInstagramやFacebookも含めて、SNSのアカウントの管理についてパスワードの変更日を決め、年1回以上パスワードを変更する等の対策を行った。

令和元年度は、開館10年目、第2期指定管理5年目（最終年）で、年間を通じ5本の展覧会事業及び交流事業等を展開し、施設理念である「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」に努めた。交流ゾーンも加えた総入館者数は255,328人となり、コロナウイルスによる影響を除けば例年通り、中心市街地に立つ美術館として、文化を通じた街の賑わいの創出に寄与し、「芸術文化の交流拠点」としての役割を果たしたと評価できる。

施設の維持管理業務に関しては、事業計画に従い各種点検業務や館内清掃業務等が滞りなく実施されている。次年度以降も、定期点検結果などを参考に適宜設備修繕等を行うことを求める。また、指定管理者の決算収支の状況も概ね良好である。

事業実施状況については、展覧会事業を柱として関連事業や交流事業及び連携事業を積極的に行っている。作品所蔵館や巡回各館とともに企画立案した共同企画展等、利用者の満足度も高い、充実した展覧会事業に加えて、教育機関や生涯学習施設の利用者に対し展覧会に関する解説を多数行うなど、都市型美術館ならではのメリットを十分に活かした運営がなされている。また、駅前3館連携事業の実施では、これまで美術館に足を運んだことのない方が初めて美術館へ来館するきっかけとなっているほか、美術館を訪れた方が他の2館を訪れることもあり、中心市街地の回遊性を高めると同時に賑わいの創出にも貢献している。

第3期指定管理期間の始まりとなる今年度も、引き続き事業内容の充実を図り、より多くの人々に静岡市美術館の魅力を発信できるよう様々な工夫を行ってほしい。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。